

平成25年度

学校だより

第3号

2013年4月20日

ヒューストン日本語補習校

新体制でスタート

平成25年度 補習校運営委員会

委員長	増田 裕一
副委員長	森 俊二
副委員長	古川 大成
運営委員	國金 栄江
運営委員	奥原 登志夫
運営委員	岡田 吉弘
運営委員	鈴木 暢之
運営委員	中村 圭一
運営委員	堀江 亮行

運営委員長就任にあたり 増田裕一 (三井物産)



4月1日より森委員長の後任として補習校運営のお手伝いをさせて戴くこととなりました増田と申します。海外勤務は台湾での駐在を経て今回は2回目の海外駐在となります。着任してから略1年半となり、昨夏初めての猛暑を何とか切り抜けられたのも台湾での経験及び炎天下のゴルフ修行で鍛えられたおかげと考えております。

本校は400名近い幼稚園児から高校生徒まで通うマンモス校であり校長先生を始めとする先生方々の熱心な教育姿勢及び毎週土曜日朝早くからお子様を遠くから送迎されるご両親の方々の熱意によって高度な教育レベル及び円滑な学校運営がなされております。私も9歳の娘を学校に通わせる父親として先生方には大変感謝をしております。

運営委員会では商工会加盟企業の中から派遣された9名のボランティア委員で構成されています。具体的には日本政府及びヒューストン日本商工会からの援助を原資とした校舎借用に際しての現地校との交渉、教職員の採用等を行っています。これらの活動を通じて教職員の方々が園児・生徒の教育育成に心置きなく励んで戴く為の環境作りが運営委員会の目的であります。また、その実現にあたっては保護者の方々、教職員の方々、運営委員間の密接な連携・意思疎通が大前提となりますので保護者の方々にも日ごろ感じられる課題等を是非ご発信戴きますようお願い致します。

現在我々が居住するTexas州の現状及び今後ですが、全米中が産業革命として沸き立つShale Gas革命の中心地となっています。このShale Gas革命を契機とした裾野の広い産業復興がおきており、過去10年の人口増加率をみると全米で最大の伸び率をTexas州は実現しています。この流れに乗って益々多くの日系企業及び関係者がHouston市及び周辺都市に転勤・転居される事が予想されており、補習校園児・生徒数も増加すると思われれます。補習校委員会として、この生徒数増加に対する対応がこれからの主要課題と感じております。

末筆となりますが、夏場は暑くて若干シンドイですが、それを吹き飛ばすぐらいの緑と陽光にあふれた当地での生活が保護者の皆様、園児・生徒の皆さんにとって、かけがえのない経験となるよう、補習校運営委員長として微力ながら貢献させて戴き度いと思いません。また、前任の森委員長には、今まで補習校運営に腐心された事に改めて感謝を申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

退任挨拶 森 俊之

昨年10月の就任から間もないのですが、4月からのTulsa異動に伴い、この度補習校運営委員長を退任することに成りました。補習校の運営に携わったのは僅か半年ではありますが、簡単に所感を述べさせていただきます。



まず当たり前の話ですが学校との接点は圧倒的に増えました。先生方の朝会(職員会議)にも何度か同席させていただきましたし、校内をぶらぶらする機会もしばしばありました。朝会では、始業前の一番忙しい時に教務担当の先生を中心にその日の予定や行事をテキパキと確認していく姿には、当校の先生方のレベルの高さを改めて感じました。校内では授業が終わり教室から駆け出てくる低学年の児童を見て心が癒されました。日本で普通に会社勤めをしては味わえない貴重な体験をさせていただきました。

この半年間の主な行事としては、運動会・餅つき大会・卒業式が有りましたが、先生方の段取り力、保護者の皆様の絶大なるご支援を持って、つつがなく終えることが出来ました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。(2頁へ続く)

一方、当校が抱える課題について触れておきます。最近のシェールブームで日系企業が多く進出し、それに伴い今後児童生徒数の増加が予想される中で、教育の質の維持と規模拡大をどう両立するかに早晩直面すると理解しています。教職員の確保・拡充、最適なクラス編成、編入学の受入基準等、山岡校長先生を筆頭に先生方の悩みは尽きないと思います。

このような転換期の中で、保護者の方々のご不満やご懸念が増えるかも知れませんが、保護者・教職員・運営委員会の相互理解・協力が円滑な学校運営の大前提との原点に立ち戻って頂き、先ず先生方と丁寧に対話を積み重ねて頂くことが解決の早道だと思いますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

後任には増田副委員長に無理を申し上げて引き受けて頂きました。また、ご多忙にも関わらず運営委員会の活動に積極的に参加頂いた委員の皆様（前田前委員長、増田副委員長、森副委員長、國金委員、奥原委員、岡田委員、中村委員）に改めてお礼を申し上げます。ヒューストンにはちよくちよく戻る予定ですので、また皆様と顔を合わす機会もあろうかと思っております。最後に成りますが、当校の益々の発展を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。

本日の避難訓練

昨年までは事件発生（不審者侵入）を校内放送で知らせる方法でしたが、今回は第1発見者のパトロール当番が指定教室に逃げ込み、そこから全パトロール当番・全職員に無線機アラームで非常事態を知らせるという方法をとりました。今後も実情に即した方法を検討・実行していきたいと考えています。

◆パトロール当番予定表 4月27日◆

これは4月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1	リーダー	小5	5 保田 南菜
			2 7 奥原 咲月
			3 8 前田 ありさ
			4 10 谷本 芳樹
			5 11 永田 玲央名
			6 12 黒丸 碧
			7 13 小関 玲榮
★PM1	リーダー	小5	14 河野 優希
			2 15 スプリンガー 茉莉
			3 16 大熊 一矢
			4 17 堀江 美砂
			5 18 山田 萌美
			6 19 大原 涼太郎
			7 22 油井 大地

児童作品 『まねまねことわざ』から

24年度4年A組

（ことわざの学習時、今あることわざをもとに、新しいことわざを作りました。「なかなか」のことわざがたくさんできました）

たこの手も借りたい 甲斐 水葵
 コアラも母から落ちる 野田 愛理花
 父の威を借るバムセ（私の犬） 保阪 明奈
 指輪に大きくブレスレットに小さい イーグルン えりか
 まいておいた種は生える 星野 未宙

子育てにも旬がある その1

（某校長先生のPTA新聞への投稿記事から）

子育てにも旬がある。子供が伸びる（伸びようとする）旬（瞬間）がある。

- ①「どうして?」「なんで?」「教えて!」
・知的好奇心の花が開こうとする瞬間。
- ②「やらせて!」「やってみたい!」「おもしろい!」
・自分から求める自主性の花が開こうとしている瞬間。
- ③「ぼくがまんしたんだよ!」
・忍耐し我慢する力が身に付く瞬間。
- ④「〇〇ちゃんがかわいそうだったから・・・」
・優しさの花が育つまさにその時。
- ⑤「この花きれいだね!」「気持ちいい!」
・美しさや喜びを感じる心が花開く瞬間。等々。

この瞬間が「子育ての旬」だと思う。花が開くように子供の心が成長しようとする瞬間である。

私たち大人は、こんな時の子供を丸ごと受け止め、受け入れてあげたい。

子供の成長しようとする瞬間を逃さない、賢い保護者や教師でありたい。

→ 新年度が始まった補習校は今が旬です。

転出 藤本マリ凜 （4/13付け）

在籍数（4月20日現在） 388名
 （ 幼33名 小247名 中72名 高36名 ）

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795（事務局 火～金曜日）

Tel.Fax 713-973-0659（職員室 土曜日のみ）

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

H.P.に於て学校便りをカラーでご覧になれます。

（ 文責 : 校長 山岡 清孝 ）